

大和証券グループ CSR活動のあゆみ

2004年	
7月	グループ本社に「CSR室」を設置
11月	「国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI)」に加盟
2005年	
2月	スマトラ沖地震・インド洋津波の被災地への長期支援を決定（「大和証券グループ津波復興基金」） 大和証券が「帳票類電子化プロジェクト」を開始
6月	ジュニア・アチーブメント日本が提供する体験型経済教育プログラム「ファイナンス・パーク」へ特別協賛 「女性起業家支援プロジェクト」を開始
7月	金融および投資家の視点からサステナビリティレポートの有用性を考えるため、GRI改訂 (G3)の作業グループに大和証券投資信託委託が参加
10月	大和証券が、報告書電子交付一括申込を行うダイヤの「eメンバー」サービスを開始
11月	NPOスタッフの育成のための「ダイヤSRIファンド」助成プログラムを開始
2006年	
1月	「持続可能性報告書2005」が(財)地球・人間環境フォーラム主催の「持続可能性報告大賞 (環境大臣賞)」を受賞
2月	『クールボンド』を開発 『ダイヤ・エコ・ファンド』の販売を開始
4月	CSRのグループ基本戦略を含む中期経営計画「"Passion for the Best"2008」を発表 「持続可能性報告書2005」が東洋経済新報社主催の「サステナビリティ報告書賞/優良賞」を受賞
5月	大和証券投資信託委託がUNEP FIと国連グローバル・コンパクトによる「責任投資原則 (PRI)」に署名
10月	『ダイヤ・エコ・ファンド』の助成プログラムとして、環境NPOジャパン・フォー・サステナビリティと「ダイヤJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ」を開設
11月	「持続可能性報告書2005」が国際比較調査 (グローバルレポーターズ2006)において、34位 (日本企業1位)にランキング
2007年	
1月	大和証券グループが「Global 100 (世界で最も持続可能な企業トップ100)」に選出 世界経済フォーラム年次総会 (ダボス会議)に出席
2月	「持続可能性報告書2006」が(財)地球・人間環境フォーラム主催の「持続可能性報告優秀賞 (理事長賞)」を受賞
4月	「持続可能性報告書2006」が東洋経済新報社主催の「サステナビリティ報告書賞/優良賞」を受賞
5月	大和証券が、お客様向け環境セミナー「ダイヤの環境フォーラム2007～いま地球に何が起きているのか～」を開催
7月	地球温暖化対策への取組みとしてグループ全社でクールビズを実施
8月	大和証券投資信託委託が『地球環境株・外債バランス・ファンド (愛称:地球くん)』と『地球環境株ファンド (愛称:環境くん)』を設定
2008年	
2月	グループ本社が国連開発計画 (UNDP) 東京事務所、世界銀行、コンサベーション・インターナショナル・ジャパン (CIジャパン) が共催した、地球環境シンポジウムに特別協賛 大和証券SMBCと大和総研が「地球温暖化問題と低炭素社会構築にむけて産業界に求められること—エコイノベーション—」を開催
3月	日本初の『ワクチン債』を販売 東京大学において「大和証券グループ アジア留学生奨学基金」を創設
4月	『ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド』の販売を開始 「ワーク・ライフ・バランス推進委員会」「ワーク・ライフ・バランス推進室」を設置 厚生労働省「仕事と生活の調和推進モデル事業」に参加
5月	北京大学において大和証券グループ寄付講座を開設 京都大学のIPS細胞研究の事業化支援に合意
6月	『ワールドクールボンド』の販売を開始 「子育てサポート認定事業主マーク」(愛称「くるみん」)を取得
7月	岩手・宮城内陸地震の被災地復興支援のため、両県の共同募金会に600万円を寄付
8月	グループ全社で家族の職場訪問を実施
9月	日本経済新聞「働きやすい会社2008」ランキングで、証券業界では最高の第14位を獲得 SRI指数「Dow Jones Sustainability World Indexes」(DJSI World)の構成銘柄として10年連続で採用
10月	大和証券ビジネスセンターが、東京都雇用開発協会木場支部「平成20年度 障害者雇用優良事業所 優秀勤労障害者表彰式」において表彰
12月	『ダイヤ・エネルギーテクノロジー・ファンド (限定追加型)』を販売
2009年	
2月	日本での第2回『ワクチン債』を販売 『次世代環境ビジネス・ファンド』を販売
4月	グループ新中期経営計画「"Passion for the Best" 2011」を発表 「持続可能性報告書2008」が東洋経済新報社主催の「サステナビリティ報告書賞/優良賞」を受賞
5月	SRI指数「FTSE4グッド・インデックス」の構成企業として4年連続で採用

「大和証券グループ CSR報告書2009」 読者アンケート

大和証券グループの「大和証券グループ CSR報告書2009」をお読みいただきまして、ありがとうございました。

下記のウェブサイトで本報告書に対するアンケートを実施しています。ご意見・ご感想をお聞かせください。

<http://www.daiwa-grp.jp/branding/report/>

GRIガイドラインの参照について

大和証券グループでは、本報告書の作成にあたりGRI*の「サステナビリティ・レポート・ガイドライン2006」を参照しています。GRIガイドライン内容索引は、2009年8月末にウェブサイトにて公開予定です。

* GRI (Global Reporting Initiative):
サステナビリティレポートの国際的なガイドラインを立案し、普及させることを目的とした団体。世界各地の企業、NGO、コンサルタント、会計士団体、事業者団体などのマルチ・ステークホルダーが参画し、1997年秋から活動。
<http://www.globalreporting.org/Home>



お問い合わせ先

所在地 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
グラントウキョウ ノースタワー
電話番号 (03)5555-1111 (代表)
eメールアドレス brand@dsgi.daiwa.co.jp
URL <http://www.daiwa-grp.jp/>